

各市町より話題提供

令和7年5月30日

重信川流域治水協議会
重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会

1. 松山市 マイ・タイムライン防災アプリ、防災士フォローアッププログラムについて
2. 伊予市 防災マップの作成、雨水排水施設の長寿命化について
3. 東温市 マイ・タイムライン教育、洪水ハザードマップについて
4. 松前町 筒井地区雨水対策事業について
5. 砥部町 雨水排水機場の建設について

いざという時のために！ 我が家の防災行動計画をつくろう！

松山市 マイ・タイムライン 防災アプリ

マイ・タイムラインが
手軽に作れる！



避難所や気象情報などが
一目でわかる！



防災情報を
プッシュ通知で
お知らせ！



① 使い方は
こちらから



無料で今すぐダウンロード！

松山市
マイ・タイムライン
防災アプリ

iOS



Android



※通信料は利用者のご負担となります。



松山市 マイ・タイムライン防災アプリ

便利な機能いろいろ さっそく使ってみよう！

マイ・タイムラインを作る！



■入力画面にそって、**危険度**に応じた**必要な行動**を自由にできます。

■作成した内容を家族と**共有・編集**できます。

安否情報の共有



■アプリ利用者と**グループ**を作成しておけば、一斉に**安否情報**を送受信できます。

危険度が一目でわかる



■**警戒レベル**が色でわかります。

■**雨雲レーダー**や**気象情報**を確認できます。



防災マップ



■**各種ハザード**を一目で確認できます。

■災害時、**通信が遮断**されてもマップの確認ができます。

■**避難所**までの**ルート検索**も可能です。

お問い合わせ

松山市 防災危機管理部 市民防災安全課
TEL: 089-948-6795 FAX: 089-934-3157
Mail: shiminbousai@city.matsuyama.ehime.jp

松山逃げ遅れゼロ
プロジェクト

1 万人 防災士への 歩み

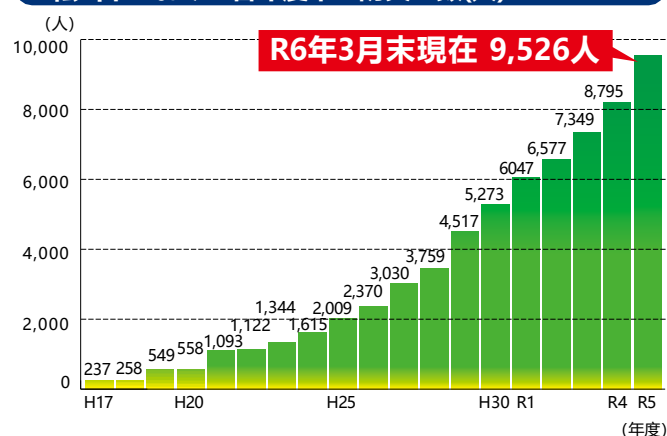
全国初、防災士資格取得費用を
全額公費負担

産官学民が連携した
「全世代型防災教育」を推進

全国最多の防災士が様々な場で活躍しています

地震や豪雨などの自然災害が発生したとき、地域の住民自らが生命や財産の安全を確保し、被害の軽減を図るためには、自主防災活動が重要です。松山市では、自主防災組織のリーダーとなる人材育成をいち早く始め、産官学民の連携で、様々な職域や世代の方に防災士資格の取得を後押ししてきました。その結果、全国の市区町村の中で最も多くの防災士が誕生し、地域の防災力を日々高めています。

松山市における各年度末の防災士数(人)



松山市の防災活動の取り組み

- 平成7年 「自主防災組織」結成を開始
- 平成14年 「防災士認証制度」が創設される
- 平成17年 公費負担の防災士養成を開始
- 平成24年 「自主防災組織」結成率100%
- 平成26年 愛媛大学で防災士養成講座を開始
- 平成30年7月 豪雨災害
- 令和元年 全世代型防災教育を開始
 - 松山市防災教育推進協議会発足
 - 松山防災リーダー育成センター設置
- 令和4年 マイ・タイムラインを軸にした「防災力ゼロプロジェクト」始動
- 令和5年 松山市マイ・タイムライン防災アプリ運用開始
- 令和6年 防災士フォローアッププログラム開始

■ 地域の防災力UPのため資格取得は公費負担

松山市では平成17年度から自主防災組織の核となる防災リーダー育成に向け、全国初の取り組みとして、自主防災組織の推薦を条件に、防災士資格取得費用を全額公費負担とする支援を行ってきました。現在も市立小中学校や保育園、幼稚園の教職員、また福祉施設や災害協定事業所など、幅広い世代・職域での防災士養成を進めています。

■ 切れ目のない「全世代型防災教育」

平成26年から愛媛大学と連携し、地域住民や大学生の防災士を養成するなど、地域防災を担う人材を育成しています。平成30年7月豪雨をきっかけに、全ての市民に防災教育を行い、さまざまな世代や職域に防災リーダーを育成するため、令和元年5月、産官学民が連携し「全世代型防災教育プログラム」をスタートしました。

小学生から高齢者まで世代や職種に合わせたプログラム



各世代の防災リーダーが支えるしくみ

子どもから成長にあわせ体系的に継続することで、主体的に防災について考え・実践できる人材の育成を図ります。地元で育った人材が、地域や企業で活躍し、一生を通じた防災リーダーとなる人材の地域循環を目指しています。

災害に強い安全・安心なまちに

松山 防災士

フォローアップ プログラム

松山防災リーダー育成センター



松山防災リーダー育成センター

〒790-8577 愛媛県松山市文京町3 愛媛大学防災情報研究センター内
TEL: 090-4910-9465
E-mail: info@matsuyama-bltc.com

防災士フォローアッププログラムとは

松山市に在住または勤務し、「防災士」資格を取得している方を対象に、防災活動を行う上で必要とされるスキルを向上させ、地域や企業の防災力を高めることを目的としたプログラムです。

※ 各自のスキルや経験などに応じて選択できるよう「初級者向け」「中級者向け」「上級者向け」に区分していますが、受講要件等はありませんので、ご自由に受講してください。

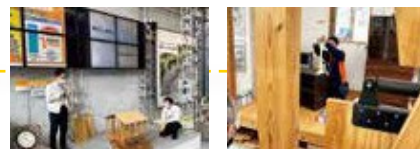


初級者向けプログラム

01
実技

住宅耐震・家具固定

家具転倒防止対策や住宅耐震化のほか、非常持ち出し袋、家庭内備蓄など、各家庭における災害への備えを学びます。



02
座学

災害時の食と栄養

過去の災害で起きた食の問題と、家庭に必要な備蓄について学びます。また、「パック調理」など、災害時に役立つ調理スキルを身に付けます。



03
座学

HUG (避難所運営ゲーム)

カードゲーム「HUG」を通じて、避難所運営について学びます。避難者や様々な問題に対応し避難所運営のイメージを掴みます。



04
実技

救出技術・初期消火・安全管理

倒壊した家屋や転倒した家具からの救出方法や初期消火の方法のほか、活動を行う上での安全行動などについて学びます。



05
実技

防災まち歩き・防災マップ作り

地域をめぐり、危険箇所や災害対応に役立つ施設や設備などを把握した後、地図に落として手作りハザードマップを作成する手法を学びます。



06
座学

防災・気象情報の収集と活用

防災・気象情報の種類と内容を理解するほか、収集・活用方法とともに、マイ・タイムラインの作成について学びます。



中級者向けプログラム

07
座学

災害時のトイレ対策

過去の災害で起きた様々なトイレの問題を学びます。ワークショップでは、避難所でのトイレの設置方法やトイレテントの明かり対策などを実際に体験します。



08
座学

災害ボランティア

災害ボランティアセンターの役割や行政・社会福祉協議会・NPOの連携の重要性を学びます。また、ボランティアを行う際の注意事項なども習得します。



09
座学

防災訓練・研修の企画と実践

地域の防災訓練や研修会を企画・立案・実践できる技術を身に付けます。また、わかりやすい資料作成の方法や説明の手法も学びます。



10
座学

ペット防災

ペットの飼い主が平時から備えておくべき対策をはじめ、避難所でのペットの取り扱いなどについて学びます。



上級者向けプログラム

11
実技

上級救命講習

成人・小児・乳児に対する心肺蘇生法やAEDの使い方、止血法、異物除去法、搬送法などを、普通救命講習より高度な応急処置として学びます。



12
座学

男女共同参画と防災

男女共同参画の視点から災害対応を進める上での基本的な考え方や、平常時の備え、初動段階、避難生活、復旧・復興の各段階での取り組むべき事項を学びます。



13
実技

リアルHUG (避難所運営ゲーム)

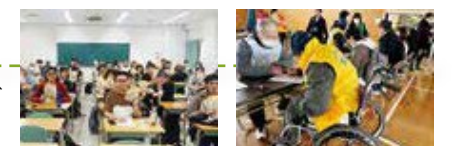
大規模災害時に、様々な人が避難してくる中、どのように避難所のレイアウトを考え、避難者に対応するかなど、避難所運営を模擬的に体験します。



14
座学

要配慮者支援

災害が発生した時、特に配慮が必要となるのは、どのような人で、どのような対応が必要か、ワークショップなどを通じて学びます。

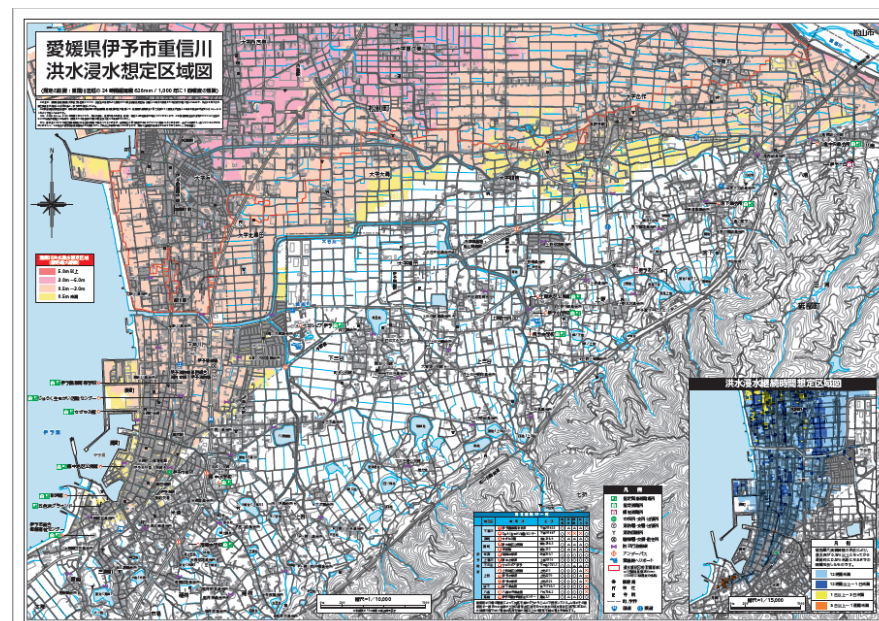


1. 松山市 マイ・タイムライン防災アプリ、防災士フォローアッププログラムについて
2. 伊予市 防災マップの作成、雨水排水施設の長寿命化について
3. 東温市 マイ・タイムライン教育、洪水ハザードマップについて
4. 松前町 筒井地区雨水対策事業について
5. 砥部町 雨水排水機場の建設について

河川防災マップの作成

伊予市

被害を最小限に抑えることを目的に、国土交通省が作成した資料を基に想定される浸水区域や避難場所を示した「地図面」と平時から災害に備えていただくための防災情報を示した「学習面」とりまとめた「伊予市河川防災マップ」を作成



実施効果

- 住民の防災意識の向上
- 事前に被害が起こりそうなところや避難所の位置等の情報を得ることにより、災害時の適切な避難行動につながることを期待される。

公共下水道ストックマネジメント計画を策定し、既存施設の長寿命化を図ることで、内水氾濫に対する安全度の向上・維持を図る。

大谷・梢川・安広ポンプ場について、令和4年度に実施設計を行い、令和5年度から13年度までに、順次、施設の更新を実施する。

令和7年度実施事業

○梢川ポンプ場

雨水ポンプ設備更新

○安広ポンプ場

雨水ポンプ設備更新
調整制水ゲート更新



1. 松山市 マイ・タイムライン防災アプリ、防災士フォローアッププログラムについて
2. 伊予市 防災マップの作成、雨水排水施設の長寿命化について
3. 東温市 マイ・タイムライン教育、洪水ハザードマップについて
4. 松前町 筒井地区雨水対策事業について
5. 砥部町 雨水排水機場の建設について

東温市



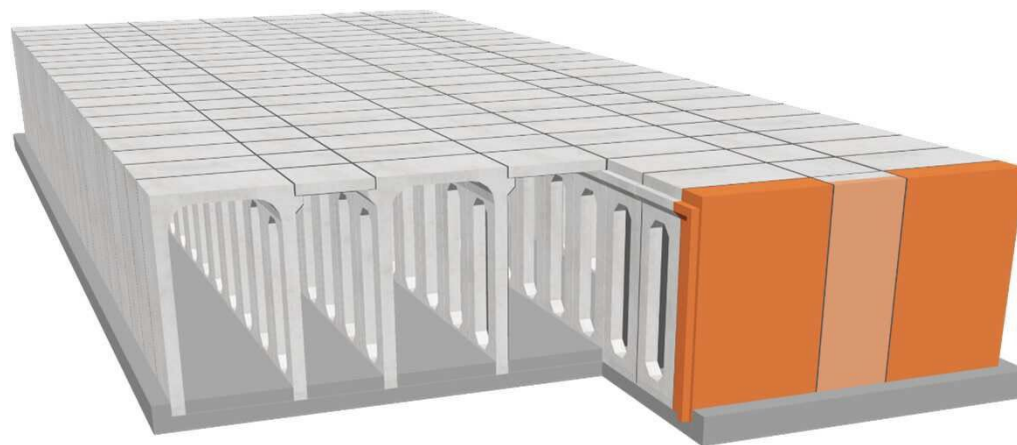
学校の児童・生徒を対象としたマイ・タイムラインの講座



令和7年3月に作成した「東温市洪水ハザードマップ」

1. 松山市 マイ・タイムライン防災アプリ、防災士フォローアッププログラムについて
2. 伊予市 防災マップの作成、雨水排水施設の長寿命化について
3. 東温市 マイ・タイムライン教育、洪水ハザードマップについて
4. 松前町 筒井地区雨水対策事業について
5. 砥部町 雨水排水機場の建設について

筒井地区雨水貯留施設整備工事 【事業目的・概要】



雨水貯留槽(M.V.P.システム)

1. 事業概要

筒井地区の現状

- 長尾谷川右岸に位置する筒井地区の雨水の排水は、筒井地区内の水路から義農遊水池を経て、長尾谷川・松前港へ排水されている。
- 降雨の際、長尾谷川の水位や松前港の潮位により、義農遊水池から自然流下による排水ができなくなった場合は、義農湛水防除施設による排水を行っている。
- 台風や前線の影響等により大雨となった場合には、湛水防除施設の排水能力以上の流入があり、自然流下できない時間帯と重なると、義農遊水池の水位が上昇し、上流の筒井地区内では浸水が発生する。
- 平成29年9月17日の台風18号では、大雨が長時間にわたり、床上浸水も発生した。



過去の冠水状況

雨水対策を事業化

1. 事業概要

筒井地区雨水対策事業のこれまでの経緯

筒井地区幹線排水路改修事業

・平成29年度～平成30年度	幹線排水路設計業務
・平成30年10月	地元説明会
・令和元年度～令和6年度	幹線排水路改修工事

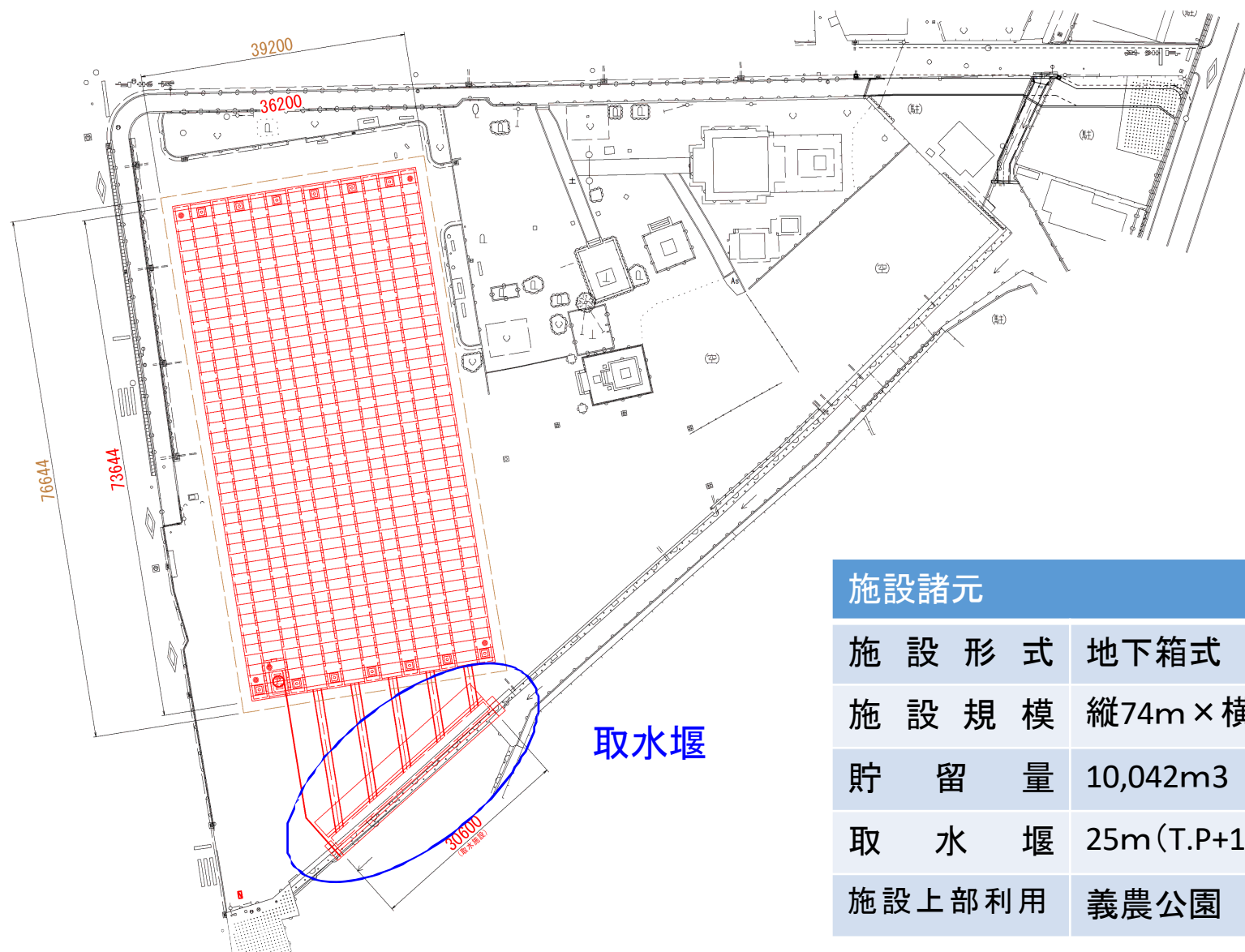
※ 水路改修工事は完了済
今後、付帯工事及び舗装本復旧工事を行い幹
線排水路改修事業は完了

筒井地区雨水貯留施設整備事業

・令和3年度～令和5年度	貯留施設設計業務
・令和6年9月	地元説明会
・令和6年10月～令和7年1月	義農公園施設撤去工事
・令和6年10月～令和9年2月	雨水貯留施設整備工事

※ 10月中旬を目途に、撤去工事から着手

1. 事業概要



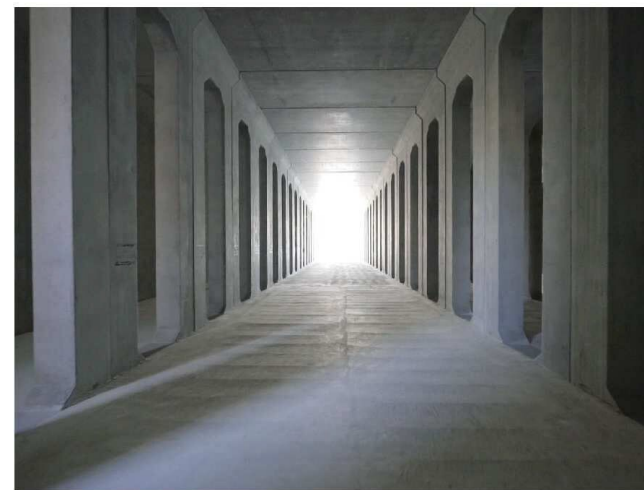
施設諸元

施設形式	地下箱式
施設規模	縦74m × 横36m × 高さ4.5m
貯留量	10,042m ³
取水堰	25m (T.P+1.00m)
施設上部利用	義農公園

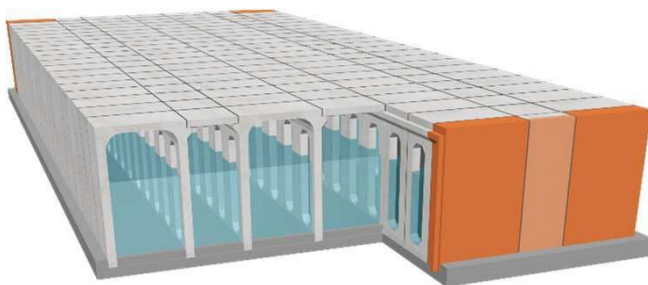
1. 事業概要 施工事例・イメージ図



施工事例(貯留容量10,000m³)



施工事例(貯留施設内部)



貯留状況イメージ

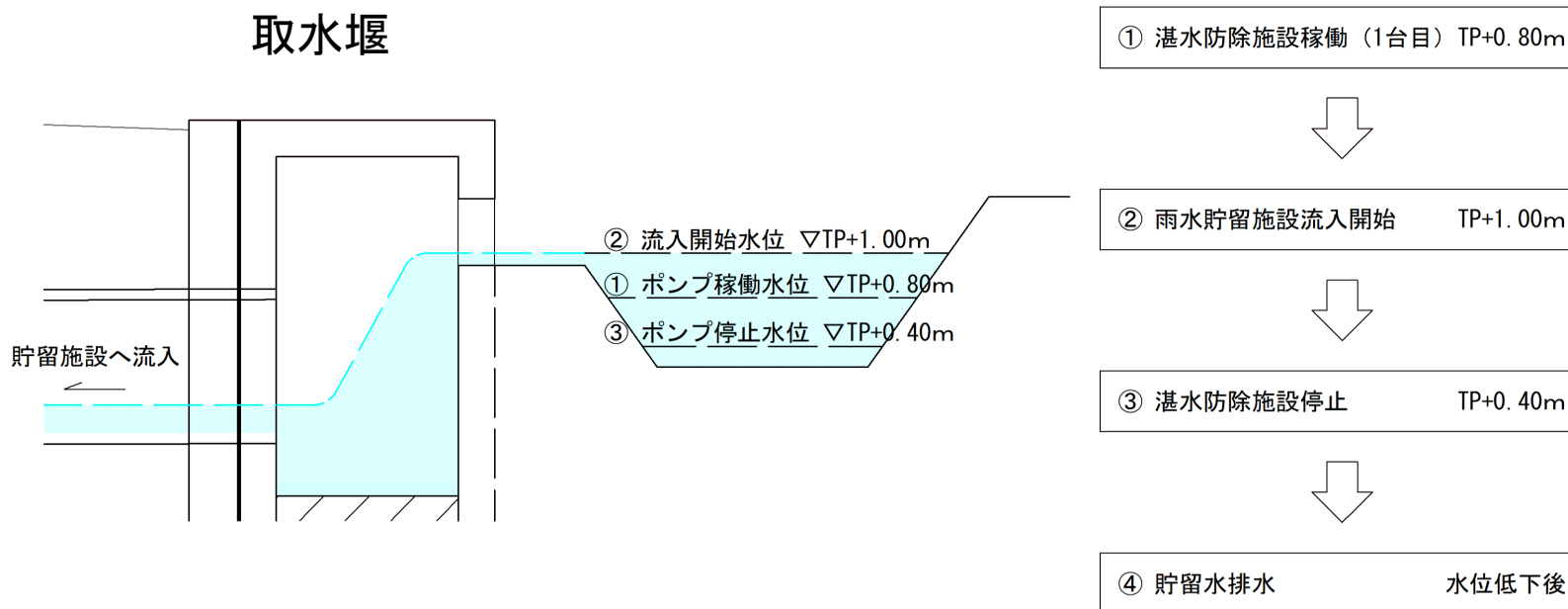


上部利用イメージ

写真、図提供: ベルテクス(株)、(株)キノ

1. 事業概要

雨水貯留施設 稼働フロー



- 自然流下や強制排除での対応が難しい場合に、排水を一時的に施設に貯留することで、浸水の軽減を図ります。
- 貯留した水は、長尾谷川水位・松前港潮位、その後の天候等確認し、問題のない範囲で、排水します。

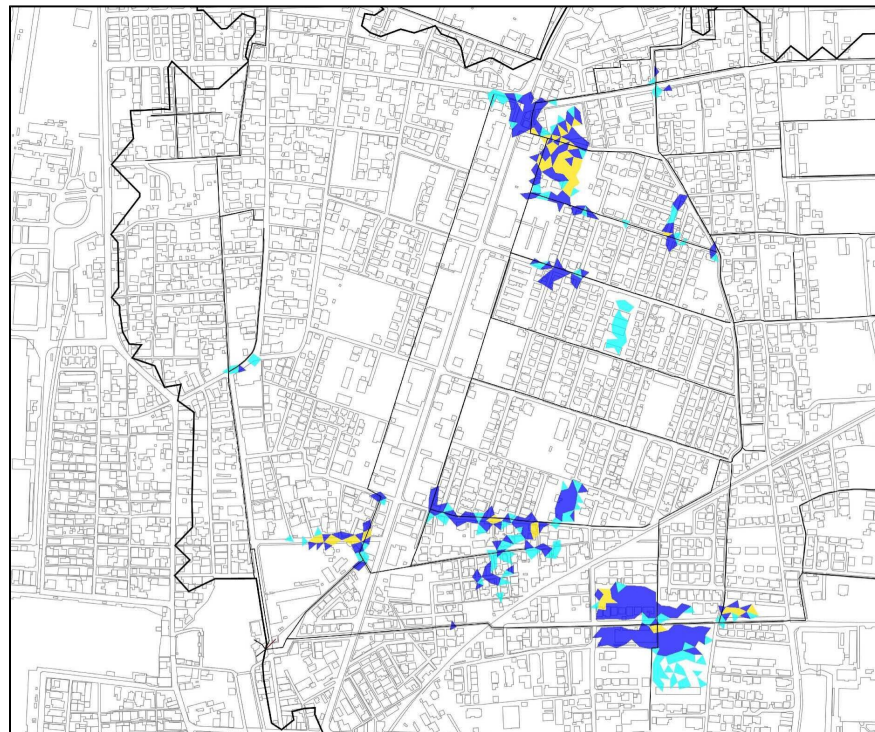
1. 事業概要

整備効果

対策前



対策後



ケース	浸水面積 (m ²)	浸水量 (m ³)	浸水時間
対策前	61,624	10,857	5:30
対策後	32,276	3,407	1:20
軽減量	29,348	7,450	4:10

浸水面積: 約48%軽減
 浸水量 : 約69%軽減
 減浸水時間: 約76%軽減
 減
 浸水水位: 20cm未満に軽減(一部を除く)

凡例 (浸水箇所)	
▲	1cm以上5cm未満
▲	5cm以上20cm未満
▲	20cm以上50cm未満
▲	50cm以上



1. 事業概要 工程

年度		令和 6 2024	令和 7 2025	令和 8 2026	令和 9 2027
項目					
1	公園施設撤去工事				
2	BOXカルバート				
3	仮設		 仮設設置		 仮設撤去・後片付け
4	貯留施設（北側）				
5	貯留施設（南側）				
6	排水ポンプ				

1. 松山市 マイ・タイムライン防災アプリ、防災士フォローアッププログラムについて
2. 伊予市 防災マップの作成、雨水排水施設の長寿命化について
3. 東温市 マイ・タイムライン教育、洪水ハザードマップについて
4. 松前町 筒井地区雨水対策事業について
5. 砥部町 雨水排水機場の建設について

重信川大規模氾濫に関する減災対策協議会(愛媛県砥部町)

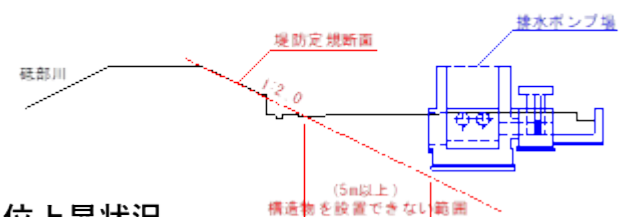
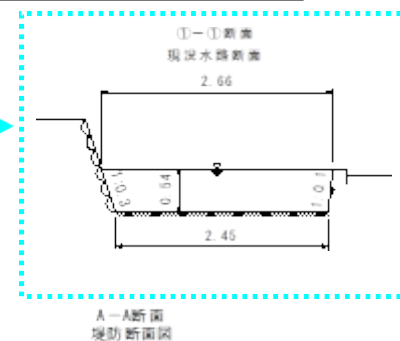
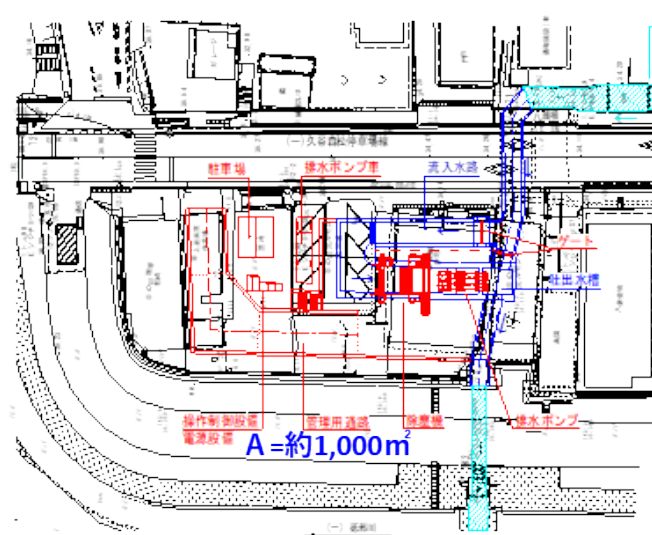
【雨水排水機場の建設について】

砥部町高尾田(八瀬)地区は、大型台風や集中豪雨時には、度重なり浸水被害が発生している。これは重信川及び砥部川の水位上昇に伴い、堤内側の内水排除ができないことが原因であるため、令和元年度に排水ポンプ車を購入し、被害拡大の防止に努めているものの、根本的な原因の解決に至っていない。そのため、浸水対策について検討した結果、強制排水するための雨水排水機場が必要であるため、令和6年度から整備を進めている。

【事業概要】

○敷地面積
 $A=1,000\text{m}^2$

○排水機場処理能力
排水ポンプ $\Phi 800 \times 2$ 台
排水量 $3.38\text{m}^3/\text{秒}$
※本町保有の排水ポンプ車1台分の排水量も含む



堤内側浸水状況



排水ポンプ車稼働状況



砥部川水位上昇状況



※平成29年の台風18号では高尾田(八瀬)地区を中心に床上・床下浸水被害が発生した(住家被害約100棟)